

冬に増えるごみの出し方や分別について

冬はごみの種類や量が変わります。出し方や分別を間違えると火災・事故などに繋がるものもあります。長与町のごみ出しルールに合わせて、正しく分別をお願いいたします。

○使い捨てカイロ

→冷ましてから、長与町指定ごみ袋で「不燃ごみ」へ

※暖かいカイロ、使用前のカイロを入れると発熱・発煙の原因となります。

未使用カイロは、開封して冷ましてから出してください。

○充電式電池

→回収窓口（役場・他公共施設）へ出してください

※収集・処理の際に発火する可能性があり非常に危険ですので、
ごみステーションへ「絶対に」出さないでください。

端子部分を絶縁テープなどで被覆して出してください。



○スプレー缶・カセットボンベ・ライター

→中身（可燃性ガス）を使い切り、レジ袋等で「不燃ごみ」へ
他の「不燃ごみ」とは一緒の袋に入れて出さないでください。

※中身（可燃性ガス）が残ったまま捨てると火災の原因となります。

屋外等の風通しの良いところで、スプレー缶の中身を出しきってください。

中身を出し切った後は、穴を開けずに出してください。



○石油ストーブ・ファンヒーター（着火装置が付いているもの）

→大きさに関わらず「粗大ごみ（有料）」としての捨て方となります。

※粗大ごみの捨て方については、「直接搬入」または「戸別有料収集」の
いずれかになります。詳しくは下記をご覧ください。

「クリーンパーク長与へのごみの搬入について」

「粗大ごみの戸別有料収集について」

